

遠隔授業の利用環境について

1) パソコンまたはタブレット端末

基本的に Web カメラ付きで最新 OS (Windows 10) を搭載したものであれば既存のもので遠隔授業に対応しています。ただし、タブレット端末の場合は、レポート作成を考慮してキーボードを用意することを推奨します。(情報処理基礎演習の履修者は、キーボードが必須です。)

新規に購入する場合は、現在販売されているノートパソコンのほとんどは遠隔授業に対応していますが、カメラ内蔵であることを確認してください(通常内蔵です)。オンライン授業以外でも大学生活の様々な面で使用することを考慮するとノートパソコンとしては以下の仕様を推奨します。

- ✓ 画面サイズ：11～14 インチ
- ✓ CPU：Intel Core シリーズ
- ✓ OS：Windows 10
- ✓ メモリ：8GB 以上
- ✓ ストレージ：128GB 以上、SSD を推奨
- ✓ バッテリ駆動時間：8 時間以上
- ✓ 本学ではマイクロソフトとの包括契約に基づく最新 Office ソフトを無償でインストールできますので(ただし在籍期間に限る)、Office ソフトなしのパソコンで大丈夫です。

2) インターネット環境

自宅、下宿などで推奨するインターネット環境は、光ファイバーやケーブルテレビなどの固定の高速回線です。

ただし、現在固定回線の申し込みが多く工事期間が長くなっていることもあり、モバイル Wi-Fi ルーターでデータ量制限なしのプランも選択肢となります。なお、データ量制限のあるものは推奨しませんが、月 50GB 程度の容量ならば当面のオンライン授業には対応できる見込みです。

スマートホンについては、ドコモ、au、ソフトバンクなどのキャリアから、25 歳以下の利用者が 50GB まで追加費用なしで利用できることを発表しています(5 月または 6 月まで)。したがって当面はスマートホンのテザリング機能を設定すればノートパソコンで月 50GB までは通常料金で利用できます。